



山腹崩壊地の緑化事例



施工前



施工2年後

定点観察地の植生推移 (国内産在来木本種子を使用した斜面樹林化工法)

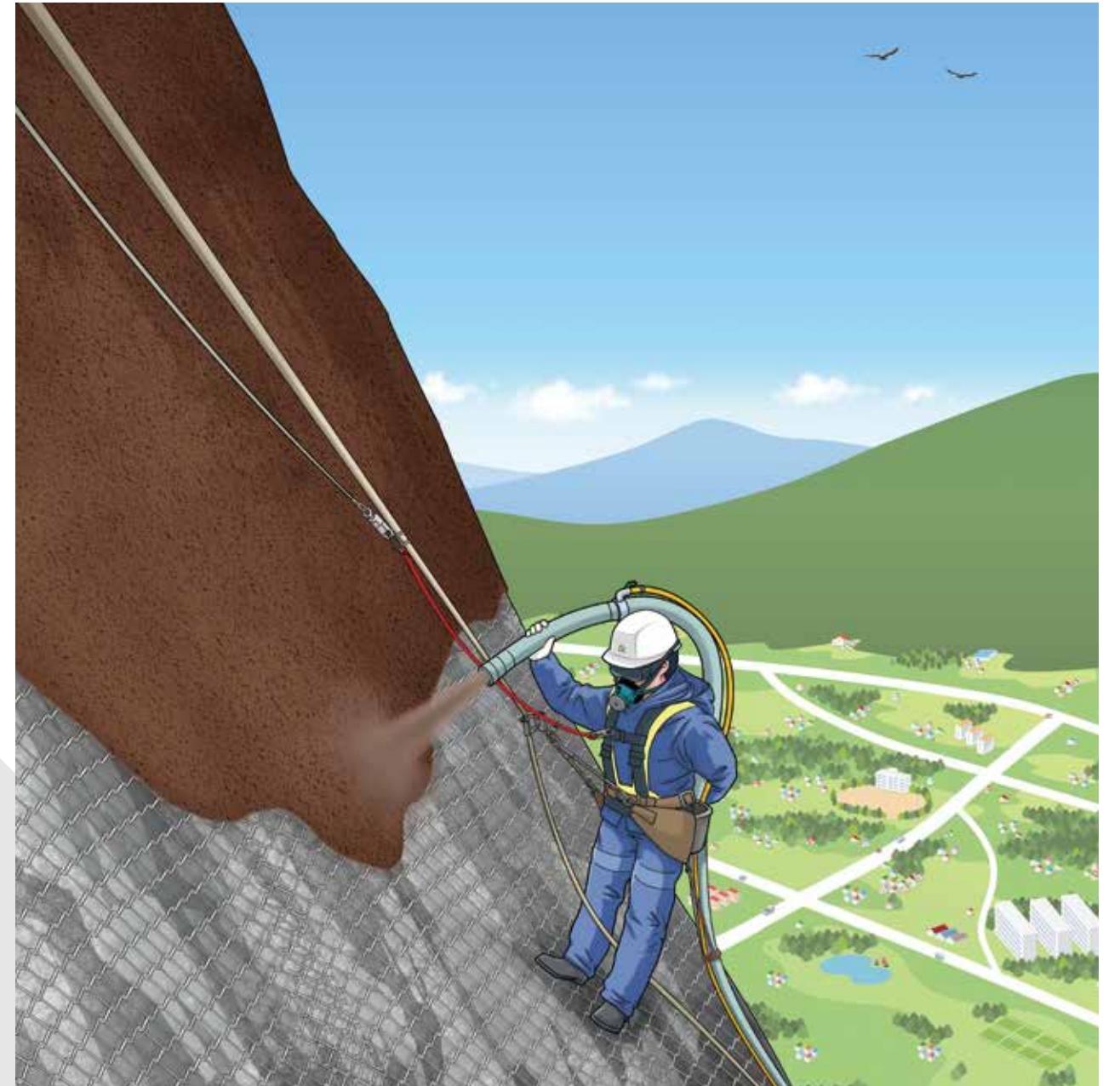


施工5ヵ月後

施工1年3ヵ月後

施工2年後

長距離高揚程植生基材吹付工 ハイグリーンショット工法



ハイグリーンショット工法は、法面垂直高80m以上を対象とする長距離高揚程植生基材吹付工法です。

特長

- ◆ **法面垂直高80m以上の高所に長距離圧送**
市場単価の適用外となる法面垂直高80m以上の現場でも、優れた耐侵食性能を有する生育基盤を吹付造成して緑化できます。
- ◆ **大がかりな仮設が不要**
コンプレッサやモルタル吹付機などの重量物の索道搬送や、斜面上に作業プラントを設置する必要がないため、大がかりな仮設が不要で、コスト削減と施工の省力化が図れます。
- ◆ **植物の生育性に優れた生育基盤を造成**
高品質の有機質系生育基盤材「オルガソイル」と、無機質系侵食防止材「レミコントロール」の組み合わせにより、植物の生育性に優れた生育基盤を造成できます。
- ◆ **さまざまな緑化工法に応用可能**
在来種播種工「斜面樹林化工法」、非面的吹付緑化工「エコストライプ工法」、自然侵入促進工「レミフォレスト工法」、強酸性土壌対策工「アルプラス工法」、金網省略対策工「ノンラスグリーン工法」をはじめとする、各種緑化工法に応用できます。
- ◆ **さまざまな緑化目標に対応可能**
弊社独自の種子貯蔵出荷施設「RSセンター」を活用して、外来種を使用しない国内産在来種子（木本類・草本類）による緑化や、現地採取種子を使用する地域性種苗利用工にも対応できます。

ハイグリーンショット工法の施工状況



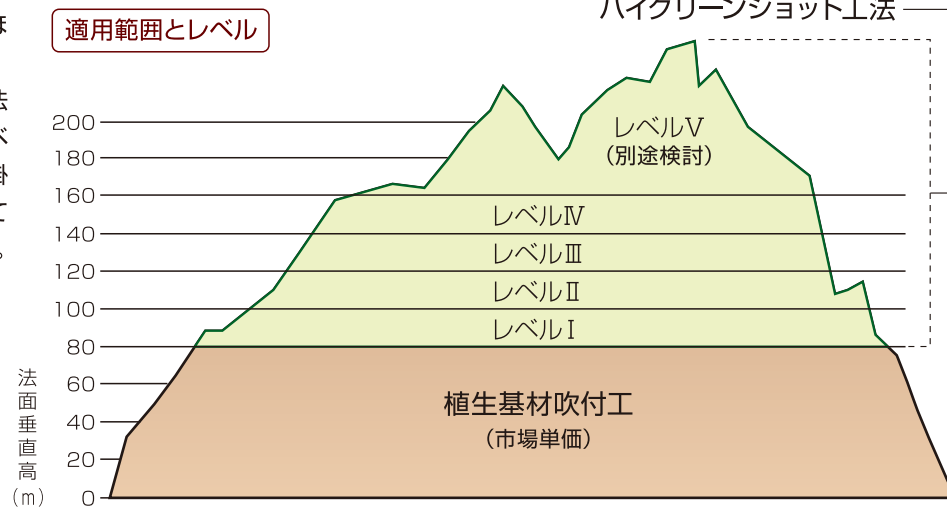
法面垂直高140m地点における施工状況



吹付状況(同上)

適用範囲

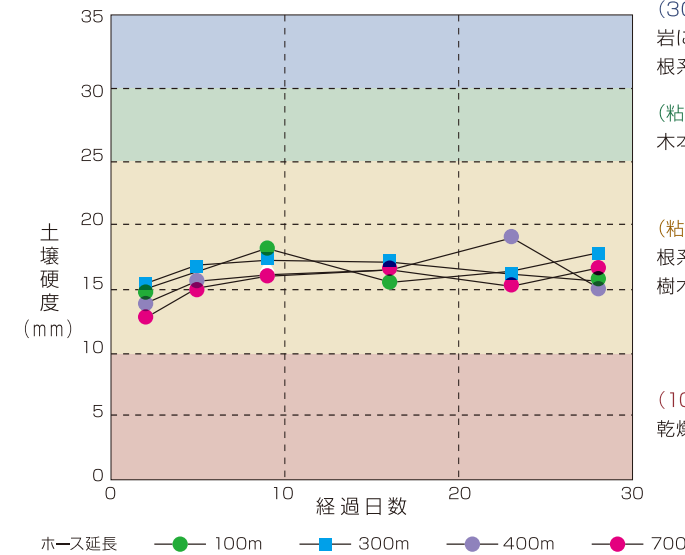
吹付工法は、法面垂直高が高くなるほど施工性が低下します。そのため、ハイグリーンショット工法は、各現場の法面垂直高に応じてレベル区分を行い、80mまでの標準歩掛に各レベルの高揚程補正率を乗じて補正する積算方法を採用しています。



良質の生育基盤

ホース延長が長距離に及んでも、植物の生育に適した生育基盤の土壌硬度(山中式土壌硬度計)を維持できます。

ホース延長と施工後の土壌硬度の推移



●土壌硬度からみた植物の生育状態予測(道路土工指針より)

- (30mm以上)
岩に亀裂がある場合には、木本類の根系の伸長は可能である
根系の伸長はほとんど不可能である
- (粘性土23~30mm, 砂質土27~30mm)
木本類の一部のものを除いて、根系の伸長が妨げられる
- (粘性土10~23mm, 砂質土10~27mm)
根系の伸長は良好となる(草本類では肥沃な土である場合)
樹木の植栽に適する
- (10mm未満)
乾燥のため発芽不良になる

施工プラント

施工プラントには、40L袋の生育基盤材を使用するタイプAと、フレキシブルコンテナバック入りの生育基盤材を使用するタイプBがあり、現場条件に応じて選定します。

